

◎県手をつなぐ育成会広報 IT 部会は、機関紙「山口手をつなぐ」だけでは不足する障害関連の情報を補完するために、新聞各社のご了解を戴き、2011年4月号より、発行月までに報道された新聞記事を収集し、「新聞切り抜き帳」として編集し、2~3ヵ月に1回、会員向け必見の情報をお届けしています。

◎切り抜き帳の閲覧はホームページで… [山口県手をつなぐ育成会(検索)一般財団法人 山口県手をつなぐ育成会(クリック後、下方へスライド)新着情報(から選ぶ)]

1~5 頁	山口県話題	6~7 頁	制度関連(公選法違反・施設面会等)	8,9 頁	オリパラアンケート
10~14 頁	障害特性生かす(就労・芸術・癒し等)	14~21 頁	事件・裁判関係等		

1 頁	農業と福祉連携でマルシェ 下関 障害ある人が作った野菜など	山口 3.11.28
1 頁	障害者雇用創出へ岩国に遠隔事業所 情報通信業「D&I」(2 頁へ)	山口 3.12.2
2 頁	障害者雇用施設を開所 トクヤマ、徳山製造所そばに	山口 3.10.23
3 頁	「担い手育て定着を」介護・福祉の未来 下松でパネル討論	山口 3.11.8
4 頁	県特別支援学校文化祭美術作品展 13 人表彰 堀田・大谷さん	山口 3.10.10
5 頁	5 団体と 14 人表彰 障害者雇用優良事業所、優秀勤労障害者	山口 3.9.28
5 頁	るりがくえん50周年 きらら博20周年祝う	山口 3.11.7
6 頁	付き添い投票、在宅起訴障害者の母、公選法違反罪 大阪地検	山口 3.11.19
6 頁	入所者と家族 直接面会を 福祉施設に厚労省通知(コロナ禍)	山口 3.11.26
7 頁	障害者雇用達成 49% 日商調査 中小企業進まず	山口 3.10.12
7 頁	(=早分かり)障害者権利の国連調査国内政策反映に期待 コロナ拡大で延期	山口 3.9.20
8 頁	肯定的評価の一方、不満も 「対象外の障害置き去り」(東パラ)	山口 3.11.8
9 頁	「障害者理解促進」70% 「就労、社会参加支援を」(障害者アンケート)	山口 3.11.8
10 頁	障害ある人に芸術の喜びを 大阪の絵画教室、設立 10 年	山口 3.10.8
11 頁	stop 自殺 #しんどい君へ 発達障害と共存 今が楽しい 絶望一生続かない	読売 3.8.14
12 頁	保護犬猫、障害者に癒し 新たな雇用創出、殺処分減の効果も	山口 3.9.24
13 頁	発達障害の特性 IT 業界で輝く 繰り返し点検、長時間集中	読売 3.8.4
14 頁	顔の向きや表情でスマホ操作可能に グーグル、障害者向け	山口 3.9.24
14 頁	点滴 3 人殺害、無期懲役 横浜地裁判決 元看護師「更生の可能性」	山口 3.11.10
15 頁	3 人殺害異例の死刑回避 判決 精神状態と難しいバランス	山口 3.11.10
16 頁	加害元少女の収容継続支持 佐世保・高 1 殺害で福岡高裁	読売 3.11.10
16 頁	知的障害生徒にわいせつ実刑 福岡地裁 懲役 2 年 4 月	読売 3.10.28
16 頁	障害者閉じ込め 虐待疑い 伊豆大島の入所施設職員ら	山口 3.10.4
17 頁	乳児殺害判決 「支援必要なのに孤立」 24 歳母親、懲役 5 年実刑	山口 3.10.4
18 頁	障害者ほぼ終日閉じ込め 神奈川県立の入所施設職員「虐待」と指摘	山口 3.9.26
19 頁	「ともに生きる」言葉だけ 鉄製扉、カメラ映像で観察(18 頁続き)	山口 3.9.26
20 頁	学童内わいせつ 19 人処分 過去 5 年 放課後デイ 25 人	読売 3.8.22
21 頁	学童経営者わいせつ 70 回 「拒否できない」 障害児狙いも	読売 3.8.22

地元育成会の所在情報については、市役所・町役場の福祉担当窓口でお確かめ下さい

※育成会は知的障害児者の家族会です。全国組織(20 万人)を構成しており、国の福祉法制立法や改正時の機会には、参画して意見具申等を行っています。

農業と福祉連携でマルシェ



障害のある人が生産した新鮮野菜などが並ぶ＝26日、下関市伊倉新町

障害のある人が作った野菜など

下関

障害のある人が生産した農産物や手工芸品などの展示販売会「ノフクマルシェ&COCCORO S.S.笑顔マーケット」が、下関市伊倉新町のゆめシティで開催されている。28日まで。

農業と福祉の「ノフク」連携を支援する県が主催。商品の販路を広げ、工賃アップや障害者の自立と社会参加を促進するのが目的で、県内30の障害福祉サービス事業所の商品が並ぶ。

1階みどりの広場に市場を設け、約30種類の採れたて野菜を販売。農産加工品や花の苗、クリスマス飾り、手作り菓子、木工品、手工芸品、雑貨もあり、楽しそうに商品を選ぶ買い物客でにぎわっている。

県内では10カ所を超える生涯福祉サービス事業所が、休耕田を借り受けたり、高齢化で担い手のいない農家を手伝ったりして農産物の生産に携わる。新型コロナウイルスによるイベント中止などで各事業所で作られた商品の販売機会が激減しており、「久しぶりの出店を楽しみにしていた利用者も多い」という。

午前9時半から午後5時まで。会場では寄せ植え講習会も開かれ、参加費は500円。

(久岡照代)

障害者雇用創出へ岩国に遠隔事業所

テレワークを活用して障害者の雇用創出を図る情報通信業「D&I」（東京）は1日、岩国市麻里布町に遠隔事業所「エンカクサテライト岩国」を開設した。障害者雇用を望む企業を全国から募り、企業に雇用された障害者が特性に応じたパソコン業務を担う。

事業所はJR岩国駅前のビル内に開設。約20平方メートルの作業部屋を5室設け、雇用された障害者のパソコン業務を同社が開発した

情報通信業「D&I」が開設

遠隔システムでサポートする。

障害者が担う業務は企業が紙ベースで保有する契約書などを電子化(PDF化)する仕事を想定。作業は同社東京本社の担当者が10分ごとに画面を見て進捗状況を遠隔サポートし、行き詰まりがあればアドバイスをする仕組みだ。

同日は開所式があり、福田良彦市長は「障害者雇用の先進企業として障害の有無にかかわらず(人が)挑

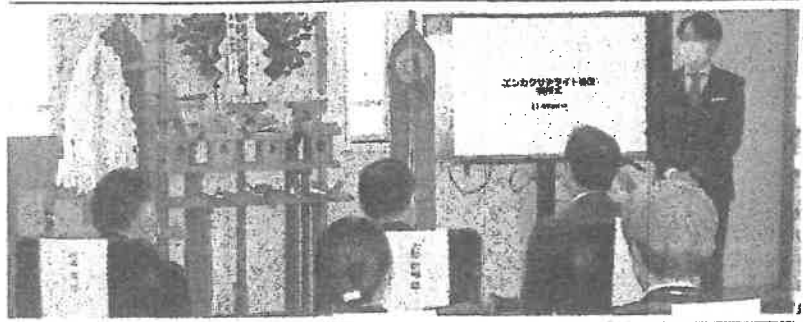
戦、活躍できる場になってほしい」とあいさつ。小林鉄郎社長(36)は「障害者が技術を習得し、将来的には地場企業で中核的な業務が担えるようにしたい」と意気込む。問い合わせは同社(電話0827・28・6802)へ。

(湊孝典)

(2頁に寄稿)

(1頁の続き)

「障害者雇用の裾野を広げ、障害者が地域のコアな戦力としてステップアップしてもらえるところにしたい」とあいさつする小林鉄郎社長(右)＝1日、岩国市麻里布町



障害者雇用施設を開所 トクヤマ、徳山製造所そばに

やまぐち経済



開所した障害者雇用施設。支援学校から職場実習も受け入れる
＝22日、周南市御影町

周南市の総合化学メーカー、トクヤマは22日、同市御影町の徳山製造所そばに、障害者雇用施設「ゆうゆうてらす」を開所した。共生社会の実現に向け、障害者の

ある人たちにも安心して働いてもらえるよう就労環境を整備し、働きがいと自立の支援を後押しする。

同社が推進するCSR（企業の社会的責任）経営

の1つ。今年冬までグループ会社が運営していたコンビニ2店の店舗跡地を改装して整備。広さは約1600平方メートルで、バリアフリーに対応し、多機能トイレなどを備えた。ここを事務所にして製造所の構内作業に臨み、緑化作業や事務作業の補助、社有車の洗車などを主業務にする予定。

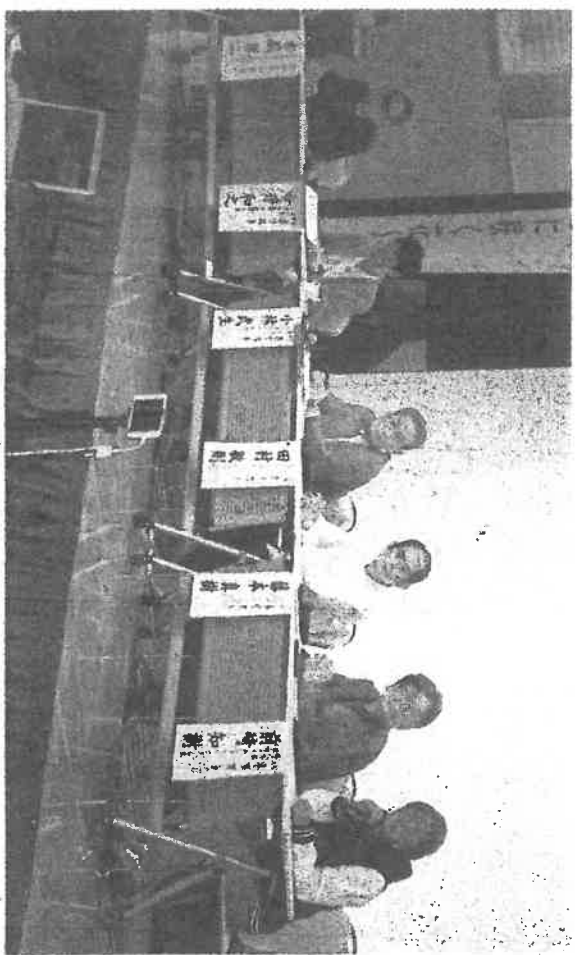
同社は障害者雇用に関心をもち、現在は全社で約60人を雇用。今後も毎年2、3人を地域から雇用予定。地域の支援学校などから職場実習も受け入れる。

同日、現地で開所式があり、野村博同製造所長は「障害があることで仕事やりにくい面もあると思うが、力を合わせてサポートしたい。その一体感で会社としても一層成長できる」と述べた。式典に出席した田布施総合支援学校の山中順子校長は「子どもたちの可能性が広がる、ありがたい取り組み。こういう場が地域に一つずつ増えていけば」と願った。

(土原裕樹)

「担い手育て定着を」 介護・福祉の未来でパナール討論

「介護・福祉の未来」をテーマにしたパナール討論会 部厚政課の今井和之委員、徳山大福祉情報学部的小林が7日、下松市大手町のほいらんどでまつであり、介護、福祉に関わる人が意見を交わした。県介護福祉士会副委員長（浜田みのり）が主催。青年部の田村敏則部長。福祉総合サポートセンター紡糸の1つ。山口新聞社己の古殿雄二代表を進行役として介護の日（11日）のイベントの1つ。山口新聞社己の古殿雄二代表を進行役



「介護・福祉の未来」をテーマに討論するパナール。パナールは県健康福祉部厚政課の今井和之委員、徳山大福祉情報学部的小林が7日、下松市大手町

2025年に全国的に30万人の人材が不足すると言われる中、いかに担い手を育て、定着につなげるかを主題に議論が進んだ。今井委員は学生の就業体験支援や離職者研修など幅広い年齢層への複数アプローチを紹介。小林教授は福祉を志す学生の絶対数が少ないため「大学と民間、行政が一致団結して人材を育成する必要がある」と述べた。3人は現場の立場で意見を発表。田村部長は利用者の支援ばかりを考へることか人材不足の一因とし「義務ではなく関わるという視点が大切と強調した。福祉教育に取り組む熊本代表は意図的に子どもたちと関わって「憧れをつくる」とし、担い手育成になること。障害者と高齢者の共生型施設を運営する前橋代表は「人を相手にする仕事なので毎日ドラマがある」とし、その魅力の積極的な情報発信を提案した。福祉、介護分野で働く若者グループ「Hijack」のモデル動画や介護福祉士の活躍を描く映画の上映もあった。（田辺清史）

県教育長賞に堀田さん、大谷さん

県特別支援学校文化祭美術作品展
(県特別支援学校文化連盟主催)の表彰式が山口市湯田温泉の力リエンテ山口であり、受賞者13人が表彰を受けた。



県特別支援学校文化祭美術作品展で入賞した児童、生徒たち―山口市湯田温泉

県特別支援学校文化祭美術作品展、13人表彰

27回目の今回は、県内13校の校内審査を通過した42点を対象に審査し、最高賞の県教育委員会教育長賞2点、県特別支援学校文化連盟会長賞2点、特選9点を選んだ。

教育長賞は、山口総合支援学校中学部3年、堀田美羽さん(13)と手郎総合支援学校高等部3年、大谷春樹さん(18)の絵画作品が受賞した。両作品は12月に東京で審査予定の第28回全国特別支援学校文化祭に県代表作品として出品される。

堀田さんは「たぐさんのワニにおどろくカエル」と題し、大好きなワニとカエルをたくさん描き、水の中でワニに驚いて跳びはねるカエルを表現。「絵を描いて楽しかった。とてもうれしい」と笑顔で話した。

大谷さんは「僕、1位になったよー皿くそして、世界をめざします」と題し、世界の海を泳ぐ大好きなパシウカシキと一緒に、自

転車競技と絵画で世界一を目指す気持ちを表し、「パシウカシキは大好きな魚。うまく描けた」と喜んだ。県教委の繁吉健志教育長は受賞者に「これからも夢の実現に向かってさまざまなことにチャレンジし、充実した学校生活を送ってほしい」とたたえた。入賞作品を含む42点は15日まで県庁そばの県政資料館で展示される。

(大下秀幸)
他の受賞者は次の皆さん。(かっこ内は総合・特別支援学校名、学年)

- 県特別支援学校文化連盟会長賞 中山友希(山口南高等部2)、山村柊斗(下関高等部3)▽特選 豊田優介(岩国中学部3)、前田海(田布施中学部1)、横山真世(周南高等部2)、高村百華(徳山高等部2)、神出真輝(防府高等部1)、山下勇人(下関南小学部4)、山田星穂(豊浦高等部3)、沖村駿(萩高等部1)、黒野幸成(山口大付属中学部3)

+

+

+

(5)



5団体と14人表彰 障害者雇用優良事業所、優秀勤労障害者

県と高齢・障害・求職者雇用支援機構山口支部は27日、障害者雇用に精力的に取り組む事業所と職場で優秀な勤務実績を残した障害者の表彰式を山口市湯田温泉のセントコア山口で開き、県内の事業所5団体と障害者14人を表彰した。

県商工労働部の小関浩幸部長と同支部の松原孝恵支部長が受賞者に表彰状を手渡した。小関部長は「県内の法定障害者雇用率を達成している企業は半数にとどまっており、さらなる取り組みが必要。今後も障害を抱える人が職場で活躍できるように支援していきたい」とあいさつした。

(山田貴大)

受賞者は次の通り。

【県知事表彰】優秀勤労障害者 和泉川優嗣(リベルタス興産)、長崎稔(マツタ防府西浦工場)

【高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰】障害者雇用優良事業所 深川養鶏農

業協同組合

【同努力賞表彰】障害者雇用優良事業所 あさひ製菓、山口フィナンシャルグループ、萩市社会福祉協議会、エポックワン(優秀勤労障害者村除龍雄(あさひ製菓)五嶋裕司(フジミツ)細川裕一(ナカムラ緑化)神原真(ティユーエレクトロニクス)伊藤雅之(周南リハビリ元氣村)藤山信季(特別養護老人ホーム寿海荘)品川剛慶(村重酒造)菊地和子(ふたば園)なないろ)小野村彰一(深川養鶏農業協同組合)末岡和貴(徳山リハビリテーション病院)

【厚生労働大臣表彰】優秀勤労障害者 杉村典也(オーブンシステム徳山医師会病院)山本好一(磯部鉄工)

山口市宮野上の障害者支援施設「るりがくえん」は6日、法人化50周年と山口きらら博20周年を記念して現地で式典を開いた。節目を祝おうと同施設と山口きらら博の関係者ら約40人が集まり再会を祝った。

るりがくえん50周年 きらら博20周年祝う

るりがくえんは、山口きらら博で出展されたパビリオン「やまぐち夢KOBAN」の建物を閉幕後に移設。「やまぐち夢KOBAN」と名前を変え、同施設利用者が紙箱などを製作する就労支援施設として利用している。

式では、湯田克治理事長と二井関成元知事があいさつ。当時パビリオンで案内役を務めていた山口市の山村裕子さんは「月日がたつのは早い。建物を大切に使い、関わった者としてうれしい」、防府市の渡部啓子さんは「きらら博は大切な思い出。これだけ地域に結び付いた博覧会はない」と当時を振り返った。

出席者はテープカットをした後、建物内を見学した。

(山田貴大)



かつてパビリオンだった建物の前でテープカットする出席者
＝27日、山口市宮野上

付き添い投票、在宅起訴

障害者の母、公選法違反罪

大阪地検

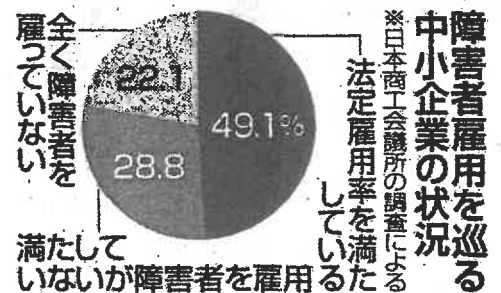
「大阪都構想」の賛否が問われた昨年11月の住民投票を巡り、障害のある娘の期日前投票に付き添った母親(59)が娘の分を記入し投票したとして、公選法違反の罪で大阪地検に在宅起訴されている。

紙の「賛成」か「反対」かを、指さしの方法で確認しようとした。長女は自閉症で聴覚過敏もあり、耳を両手でふさぎ動けなくなっていたため、母親は「この子は(ここでは)意思表示できない」と抗議。長女の手を取り、指さしをさせようとしたが、職員から「こんなやり方では駄目です」と言われ、押し問答の末、自ら投票用紙に記入し投票箱に入れた。

母は大阪府警に書類送検され、今年3月に在宅起訴された。母親は取材に「法を破るうとは思っていなかったが、代理投票のルールの説明はなく、どのようにして意思を確認するか協議もなかった」と話した。淀川区の担当者は「母親に『代理投票ですか』と声

す」と制止したが、振り切った投票した。職員としてやるべきこととはした」と説明した。母親の代理人弁護士は、長女が動けなくなっていたため、投票の意思を示していないように判断した可能性があると指摘。「公の場である」と指摘。母の場では「公の場で固まるのは自閉症の特性。障害への配慮が求められる職員にそうした知識があったのか。今回は起訴権の乱用だ」と批判した。一方、捜査関係者は「(職員の)目の前で違反行為をされた。選挙システムを守るためには厳しい対応が必要だ」としている。

(7層記事の資料)



入所者と家族直接面会を

福祉施設に厚労省通知

厚生労働省は新型コロナウイルス禍で面会が制限されている介護、障害などの福祉施設の入所者が家族らと直接面会できるよう、施設に安全な方法の検討を求め、通知を自治体に出した。入所者と面会者の双方がワクチンを接種済みか、検査で陰性の場合に面会を

促す。医療機関にも面会対応の検討を求めた。

一部の施設は面会制限が続いており、入所者への心身への影響が懸念されている。今回の対応はワクチン接種率の高まりや感染

検査で陰性の場合に面会を促す。医療機関にも面会対応の検討を求めた。

厚生労働省は新型コロナウイルス禍で面会が制限されている介護、障害などの福祉施設の入所者が家族らと直接面会できるよう、施設に安全な方法の検討を求め、通知を自治体に出した。入所者と面会者の双方がワクチンを接種済みか、検査で陰性の場合に面会を

促す。医療機関にも面会対応の検討を求めた。

一部の施設は面会制限が続いており、入所者への心身への影響が懸念されている。今回の対応はワクチン接種率の高まりや感染

検査で陰性の場合に面会を促す。医療機関にも面会対応の検討を求めた。

障害者雇用達成49%

日商調査中小企業進まず

法律で一定割合の障害者を雇うよう義務付けられている中小企業のうち、必要な採用数を満たしたのは49・1%にとどまる。11日、日本商工会議所(日商)の調査で分かった。厚生労働省は3月、法定雇用率を0・1%引き上げて2・3%としたものの、受け入れ側の理解や配慮の不足といった課題もあり、採用は進んでいない。

各地の商工会議所を通じて会員企業約6千社を対象に7~8月、アンケートを実施。約3千社から回答を得た。障害者雇用が義務となっている従業員43・5人以上(短時間労働者は0・5人と換算)の企業のうち、22

・1%は全く障害者を雇っていない。28・8%は雇ってはいても法定雇用率を満たしていないかった。障害者を雇う上での課題を複数回答で尋ねたところ「自社の業務に合った障害者を採用できない」が36・5%で最多を占めた。「障害特性を踏まえた配慮など受け入れのノウハウが不足」33・2%、「障害者が行う業務の切り出しや設定が困難」31・4%と続いた。今後約3年間で障害者採用を増やすと答えた企業は15・2%に上り、昨年の調査結果より2・4%増えた。日商の担当者は「中小企業は長期的に見れば人手不足が続く。女性や外国人と同様に障害者も働ける環境を整備していく必要がある」と指摘している。

(6頁)資料の記事

ニュース早分かり

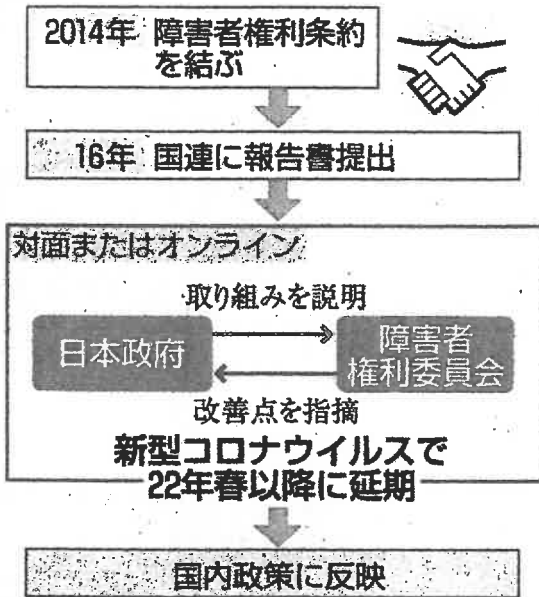
障害者権利の国連審査

国連の障害者権利委員会による日本の政策に対する審査が、新型コロナウイルス感染拡大で延期されています。

【Q】障害者権利委員会とは何ですか。

【A】障害者の権利を守り、差別を禁止するために国がやるべきことを定めた障害者権利条約に基づく組織です。条約を結んだ国から選ばれた18人の委員でつくり、各国の政策を定期的にチェックします。

国内政策反映に期待 コロナ拡大で延期



国連の対日審査の仕組み

【Q】どのような効果がありますか。

【A】日本政府が改善点の指摘を受け、国内政策に反映されることが期待されます。指摘に従う決まりはないものの、尊重することが国際社会で求められています。

【Q】対日審査は遅れているのですか。

【A】日本は2016年に権利委に報告書を出しました。順調に進めば、昨夏にスイス・ジュネーブで権利委の委員から政府の関係者が意見を聞かれ指摘を精神障害者が強制入院で受ける予定でした。感染拡大の影響で審査は延期になりました。延期により、関係者が意見を言う機会もあります。これに対し、政府報告は法律の整備状況の説明が主です。

【Q】多様な意見が取り入れられますか。

【A】権利条約は「私たちを私たちが抜きに決めないで」という言葉のひました。条約を結んだ後、2年以内に政府の取り組みを権利委に報告する必要があります。

【Q】今後の見通しは。

【A】今年からオンライン会議が始まりました。各国の間に時差があり、オンラインでは時間をかけて多くの国を審査できません。3月にエストニア、8~9月にフランス、シブチが対象となりました。日本は最も早くて来春の予定です。感染状況によっては、さらに遅れる恐れもあります。

【Q】障害者が意見を述べる機会がありますか。

【A】市民団体による報告が認められています。障害者団体「日本障害者フォーラム」が提出した報告は、精神障害者が強制入院で自由を奪われていると訴えるなど、直面する課題が中心になっています。団体関係者が意見を言う機会もあります。これに対し、政府報告は法律の整備状況の説明が主です。

肯定的評価の一方、不満も 「対象外の障害置き去り」

東京パラリンピック

共通通信アンケートで、東京パラリンピックへの障害者の評価は肯定的な意見が多数を占めた。一方で「一時的に盛り上がった」「参加対象外の聴覚や精神などの障害に対する理解は進んでいない」といった不満も。大会が掲げた「共生社会の実現」には、普段の生活で障害者と一緒に過ごす機会や、コミュニティへの配慮など、7方面での取り組みがさらに求められた。

(1面に関係記事)

▽感慨

「パラリンピック後、街圧師で全盲の牛田来さん(70)が大阪府豊川市川増で手助けしてくれる人が増えた。選手が頑張る姿を多くの人が見たからだと思

う。あの歴々サッサイ指

は、大会の効果をそう実感

し、伸べてもさうのを待つ

でなく、自分から楽しむこと、積極的に周囲と関わりを持つようになった。日頃から助を受けながら、ジョギングやグラウンドゴルフを楽しむ。全国障害者スポーツ大会にも陸上競技で約20年間参加。パラリンピックで選手の活躍に「いるいるな、障壁を乗り越えて来た過程が想像でき、すごうれしかった」と話す。

「みんなが子どもの頃から障害のある人と身近に接する機会があれば、特別な存在ではなくなると思」

と、学校教育での取り組みに期待する。

▽特別扱い？

(9頁に続く)

東京パラリンピックを巡る障害者の要望や不満

「共生社会の実現」というのなら、五輪とパラリンピックを分ける必要はないのではないか

聴覚障害者の60代男性

「参加対象外の聴覚や精神などの障害に対する理解は進んでいない」といった不満も。大会が掲げた「共生社会の実現」には、普段の生活で障害者と一緒に過ごす機会や、コミュニティへの配慮など、7方面での取り組みがさらに求められた。

「みんなが子どもの頃から障害のある人と身近に接する機会があれば、特別な存在ではなくなると思」と話す。

▽特別扱い？

(9頁に続く)

▽感慨

「パラリンピック後、街圧師で全盲の牛田来さん(70)が大阪府豊川市川増で手助けしてくれる人が増えた。選手が頑張る姿を多くの人が見たからだと思

う。あの歴々サッサイ指

は、大会の効果をそう実感

し、伸べてもさうのを待つ

でなく、自分から楽しむこと、積極的に周囲と関わりを持つようになった。日頃から助を受けながら、ジョギングやグラウンドゴルフを楽しむ。全国障害者スポーツ大会にも陸上競技で約20年間参加。パラリンピックで選手の活躍に「いるいるな、障壁を乗り越えて来た過程が想像でき、すごうれしかった」と話す。

「みんなが子どもの頃から障害のある人と身近に接する機会があれば、特別な存在ではなくなると思」

と、学校教育での取り組みに期待する。

▽特別扱い？

(9頁に続く)

「共生社会の実現」というのなら、五輪とパラリンピックを分ける必要はないのではないか

聴覚障害者の60代男性

「参加対象外の聴覚や精神などの障害に対する理解は進んでいない」といった不満も。大会が掲げた「共生社会の実現」には、普段の生活で障害者と一緒に過ごす機会や、コミュニティへの配慮など、7方面での取り組みがさらに求められた。

「みんなが子どもの頃から障害のある人と身近に接する機会があれば、特別な存在ではなくなると思」と話す。

▽特別扱い？

(9頁に続く)

▽感慨

多くの人が見たからだと思

う。あの歴々サッサイ指

は、大会の効果をそう実感

し、伸べてもさうのを待つ

でなく、自分から楽しむこと、積極的に周囲と関わりを持つようになった。日頃から助を受けながら、ジョギングやグラウンドゴルフを楽しむ。全国障害者スポーツ大会にも陸上競技で約20年間参加。パラリンピックで選手の活躍に「いるいるな、障壁を乗り越えて来た過程が想像でき、すごうれしかった」と話す。

「みんなが子どもの頃から障害のある人と身近に接する機会があれば、特別な存在ではなくなると思」

と、学校教育での取り組みに期待する。

▽特別扱い？

(9頁に続く)

「障害者理解促進」70%

東京パラで「就労、社会参加支援を」 障害者アンケ

8〜9月に開かれた東京パラリンピックについて、閉幕後に共同通信が全国の障害者を対象にアンケートを実施した結果、「大会の開催は障害の理解につながったと思う」との回答が70%に上った。2019年に

行った同様の調査では62%だった。多くの人が選手への活躍を目にしたことで、期待を上回る効果もたらされたといえそうだ。

（3面に関係記事）

一方、「最近、差別を受けた」との回答は大会前後で30%強のまま変わらず、スローガンに掲げられた共生社会の実現には、障害者の就労や社会参加への支援

を強める必要があるとの意見が多かった。

アンケートは、さまざまアンケートの方法

障害者団体の全国組織など13団体でつくる「日本障害フォーラム」を通じ、9月中旬から全国の障害者に質問票を配布。ウェブやメール、ファクスなどで回収した。家族や支援者の代筆・代理回答を含め、山口県と宮崎県を除く45都道府県の763人から有効回答を得た。回答者の障害種別は聴覚、知的、視覚の順に多く、ほかにも肢体不自由、精神、発達障害などさまざま。年代は10代以下から80代以上までおり、50代が最多だった。

な障害者団体で構成する日本障害フォーラム（東京）を通じて9〜10月に実施。763人から有効回答を得た。

大会開催が自身の障害や障害一般の理解につながったと思うか尋ねると、「ある程度」を合わせ「思う」が70%を占めた。理由は「選手の活躍によって障害者に社会的な注目が集まったから」が最多。「メディアを通して障害者を目にする機会が増えたから」が続いた。

当初開催予定の約1年前に当たる19年6〜7月に実施した調査（564人が回答）では、「障害の理解につながると思う」との回答は62%だった。

大会開催による自分の心の変化については「選手への活躍を見て前向きな気持ちになった」が40%、「特に変わらない」が32%。「新型コロナウイルスの感染拡大リスクを考えると複雑な気持ちになった」も22%いた。

「最近、周囲の言動で差別を受けたり感じたりしたことがある」人は34%で、19年調査の36%とほぼ横ばいだった。

「最近、差別を受けた」と答えた34%の人に具体例を聞くと「職場で仕事を与えてもらえない」など疎外感を抱いているケースのほか、「施設やサービスの利用を断られた」「病院で筆談にに応じてもらえなかった」といった体験が寄せられた。

生まれつき聴覚障害がある東京都の自営業の女性（42）は演劇の鑑賞が趣味。一部の劇団は、せりふの字幕や台本が表示されるタブレット端末を聴覚障害者に貸し出すなどの鑑賞サポートを提供している。だが、今夏に見ようとした舞台では理解を得られず、台本を借りられるまで何度も交渉

しなければならなかった。パラリンピックでは、テレビ局の配慮により一部の生放送で映像との時間差がない字幕表示が取り入れられ、感激した。普段は映像からかなり遅れて字幕が出てきて、分りにくいからだ。しかし、大会が終わるとそれも姿を消した。「夢を見させてもらっただけに残念」と漏らす。

障害者が健常者と同様のサービスを受けられるよう柔軟な対応をすることは「合理的配慮」と呼ばれる。民間事業者には3年以内に義務化されるが、「まだ障害者への『特別扱い』と思われる面もある」。東京大会で変化もたらされた、とは感じられずにいる。

▽特別扱い？

一方、アンケートでは「五輪と二緒に開催してほしかった」聴覚障害者も参加できるようにすべきた」

「発達障害や精神障害、内

（8頁の続き）

「発達障害や精神障害、内

「発達障害や精神障害、内

「発達障害や精神障害、内

「発達障害や精神障害、内

「発達障害や精神障害、内

「発達障害や精神障害、内

「発達障害や精神障害、内

「発達障害や精神障害、内

障害ある人に芸術の喜びを 大阪の絵画教室、設立10年

「人生に芸術家という選択肢を提供したい」

自閉症といった発達障害や知的障害がある人に絵画などを教えてきた大阪府東大阪市の「美術教室ライブハウス」が8月、開設から10年を迎えた。個展を請く売れっ子の画家も輩出。現代美術作家で代表の大沢辰男さん(57)は「障害がある人の人生に芸術家と

いう選択肢を提供したい」とドバイスする。

教室には成人だけでなく子どもも通う。発達障害がある小学5年の上野友輝さん(10)は「赤と青を混ぜたら紫になる」という基本も知らない人生は悲しい」と反論。何を描くかは生徒に任せ、最低限の知識や技術を伝えるのが信念だ。

「水の付けすぎ」と次々とア
「もっと細かい筆の方がいい」
向き合っていた。大沢さんは
案では約10人の生徒が作品に
田園の風景画。9月上旬、教
重ねた抽象画や、夕日が沈む
青、黄、緑と何軍にも色を
指導に力を入れる。

「障害者アート」は作者の衝
動に任せるべきで教えるもの
ではないと批判も。大沢さん
は「人生の喜びになってほしい。
20年、30年たって私が死んだ
後、生徒たちが表現できる
場所があれば大成功だ」



「美術教室ライブハウス」で生徒を指導する大沢辰男さん(左)＝大阪府東大阪市

当初は、歩き回って筆すら
持たてられない生徒らに悪戦
苦闘した。何とか1人に描い
てもらえると、その姿を見た
他の生徒たちも思い思いに描
き始めた。「終には人を動か
す力がある。障害の有無は関
係ない」と気付き、のめり込
んだ。

2011年8月に独立して
ライブハウスを設立した。ラ
イブには「成熟した」という
意味がある。15年には創作活
動を「実施している」とした
のは約67名だった。

絶望 一生続かない

STOP 自殺 ④

#しんどい君へ

私は小学4年生の時、発達障害である学習障害、注意欠陥・多動性障害（ADHD）と診断されました。

文字は読めても「あ」「や」「ぬ」が書けず、計算はできないのに、算数のテストでは問題が理解できない。学校生活では周りになじみず、集団行動ができず、話しかけられてもうまくコミュニケーションが取れず、友達も作れない。

宿題もよく忘れて、怒られ、問い詰められて「何かしゃべらなきゃ」と思うと体が固まって言葉が出てこない。先生の目には、ただボーッとしているように映り、「反省してない」と体罰を受けました。

中3の時、「コミュニケーションの難しさや強いこだわりがあるアスペルガー症候群と

診断されました。当時は発達障害のことがあまり知られてなく、適切な助言も受けられませんでした。つらくて母に訴えてもうまく説明ができません。どうすればいいのか分からなくて、一人だけ戦場にいるような感覚でした。

高校は楽しく過ごせたのですが、卒業後、絶望を感じる経験をしました。看護師になり、病院で働

漫画家

沖田×華さん 42



和田康司撮影

おきた、はっか 1979年、富山県魚津市生まれ。2008年にデビューし、18年には産婦人科を舞台にした「透明なゆりかご」で講談社漫画賞少女部門を受賞。NHKでドラマ化もされた。他の代表作に「盛気楼家族」（全6巻、幻冬舎）など。発達障害を題材にした作品も多い。

ていたのですが、指示を理解できないし、職場の人間関係を読めなくて相手を怒らせました。「誰も分かってくれない」と追い込まれ、22歳のときに自死を考えました。ただ、結果的にそうはならず、「あとの人生はおまけ。好きなように生きよう」と決めました。病院を辞め、漫画家でもあるいまの夫にファンレターを送って交流が始まり、デビューにつながりました。

*

同じ悩みを抱える子には、

同じ悩みを抱える子には、

発達障害と共存 今が楽しい

「発達障害だから生きづらい」と決めつけないでください」と伝えたい。次々と考えが浮かんでくる特性は、漫画家に向いています。人間関係で大変なケースは多いですが、どう折り合いをつけるかを考えたいと思います。発達障害への理解も社会全体が進み、SNSで吐き出したり、同じ悩みを持つ人を見つけたりできます。

周りに発達障害の子がいる方には、構い過ぎはよくないということを知ってもらいたい。気にはかけてほしいのですが、行動の制限が負担になり、心配がプレッシャーになることもあります。

私は今、障害と仲良く共存していきこうと考えています。

今がすごく楽しいし、やりたいうこともたくさんある。だから、つらいことがたくさんあっても、真面目に捉えすぎないでください。

しんどさを感じても、絶望を感じても、とりあえず大人になるまで生きてほしい。つらい時は私もそうでしたが、漫画に逃げてもいい。年を重ねれば、感情や見方は変わります。抱えているつらさこそ一

生、付き合うわけではない。「ああいうことがあったから、いまの自分があるんだ」と楽しめる日が、きっと来ます。



読売新聞オンライン特設ページで動画も公開中

◆主な相談窓口

- 文部科学省「24時間子供SOSダイヤル」
電話 0120-0-78310
毎日24時間。保護者からの相談にも対応
- チャイルドライン
電話 0120-99-7777
毎日午後4時～9時。同団体のホームページのチャットからも相談できる(毎週木、金、第3土曜)。18歳までが対象
- NPO法人BONDプロジェクト
LINE @bondproject
月、水～土曜の午後2～5時半、午後6時半～10時。10、20歳代の女性が対象
- 法務省「子どもの人権110番」
電話 0120-007-110
平日午前8時半～午後5時15分。「子どもの人権SOS-eメール」のホームページからも相談できる

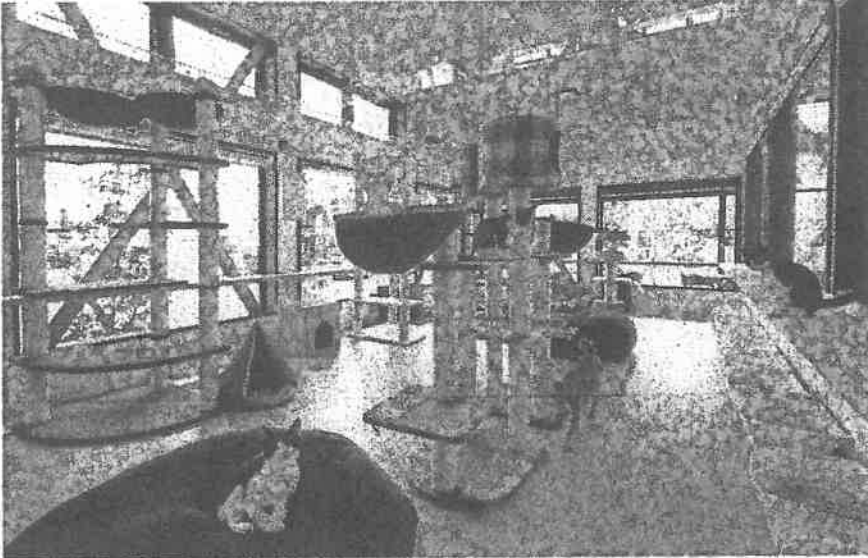
保護犬猫、障害者に癒やし

広がる取り組み

新たな雇用創出、殺処分減の効果も

障害のある人が地域で共同生活をしながら、飼育放棄や迷子などで保護された犬猫と一緒に過ごす共生の取り組みが注目を集めている。気持ちが悪くかになったり会話や運動の機会が増えたりする「アニマルセラピー」のほか、犬猫の殺処分を減らす効果が期待される。動物のいるカフェなどで働き、新たな雇用の受け皿となるケースも生まれている。

「おやつ食べる?」「人懐っこいね」。さいたま市の「わおん障がい者グループホーム浦和針ヶ谷」に、にぎやかな声が響いた。一軒家を改装し今年2月にオープンしたホームでは、中程度の知的障害と精神障害



●大分市の保護猫カフェ「かきのしっぽSAKURA ZAKAカフェ」(CFC提供) ●保護猫「うに」をなでる「わおん障がい者グループホーム浦和針ヶ谷」の入居者の広橋美紀さん(さいたま市)

障害者、保護犬猫の「共生」の効果 (イメージ)



のある女性6人と保護猫「うに」が一緒に暮らす。飼いが病気で世話ができなくなり、8月にやって来た8歳の猫だ。入居者には個室があり、うには共用スペースで飼われ、柵の上に乗ったり、昼寝をしたりして気ままに過ごす。スタッフが中心となり、うにの世話をし、入居者は自由に触れ合うことができる。

入居する広橋美紀さん(54)は「かわいくて癒やされる。うにがいると、みんなの輪ができる」と笑顔を見せる。管理者の五十嵐美和さん(40)は「コロナ禍で入居者もストレスがたまりがちだったけれど、うにが来てから明るい雰囲気になった」。

知的障害者5人が生活する福島県二本松市のグループホーム「すはる」には犬が5匹おり、うち4匹は保護犬だ。家族や友達のように、夜眠れずにリビングにきた入居者にそっと寄り添うことも。「率先して犬の散歩をする人もいて互いに支え合っている」とサービス管理責任者の菊池幸美さん(57)は説明する。

国は障害者が暮らす場を、病院や入居施設から、少人数で共同生活を送るグループホームなど地域の中に移行を進める。一方、環境省によると、引き取り手が見つからず殺処分となった犬猫は2019年度に約3万700匹に上る。ペットと共生するグループホームは、癒やし効果だけでなく、障害者の居場所づくりや殺処分減という社会的問題への対応策としても注目される。

7月オープンした大分市の保護猫カフェ「かきのしっぽSAKURA ZAKAカフェ」では、10、60代の障害者35人が約20匹いる猫の世話や血洗い、雑貨作りなどの仕事に携わる。猫の譲渡会も障害者たちが企画・運営し、これまでに6匹が新たな飼い主と出合った。

ソーシャルワーカーでもある運営会社「CFC」の首藤和彦社長(50)は「新たな雇用の場となり、仕事への意欲と責任感が障害者に生まれている。カフェや譲渡会を通じて地域の人たちと触れ合いも格段に増えた」と話す。

発達障害の特性 I T業界で輝く

I T（情報技術）分野で、発達障害を抱える人の活躍の場が広がっている。他人とのコミュニケーションが苦手といった困難があっても、専門性の高い仕事に向いているケースも多いためだ。能力を発揮するために、周囲の理解と、得意なことを伸ばすチャンスを与えられることが重要だ。

（村上藍）

「今の仕事は天職。できることとやりたいことが一致していて、褒められるとやる気にもつながります」。I T大手の特例子会社で、ゲームやI Tソフトの品質テストなどを担う「デジタルハーツプラス」で働く仙台市の及川さん（28）は、笑顔でこう話す。

一方、継続して物事に取り組むことは得意だ。職場ではゲームなどを同僚と繰り返し点検して欠陥を探る。長時間集中できる特性を発揮し、不具合を多く見つける。及川さんは「今の仕事をずっと続けたい。I Tに関われる職場があったら良かった」と満足げだ。デジタルハーツプラスでは、雇用する約30人のほとんどが精神障害や発達障害を抱える。徹底的に突き詰めたり、こだわったりする障害の特性を生かし、重要な戦力となっている。ただ、工程の管理が苦手で、真面目で働き過ぎることもあるため、その点は上

繰り返し点検、長時間集中

発達障害 生まれつきの脳の機能障害が原因とされる。自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）などがある。人によって症状や程度が異なり、複数のタイプを併発することもある。



彼娘ととも、生後生後で仕事をする発達障害者（左、榎原寛貴）

発達障害の特性が強みになる例

- 集中しやすい
- ルールを重んじる
- 細かいことに気がつく
- 常識にとらわれない
- 興味ある分野の知識が豊富

- 見方を変えると……
- 継続して作業に取り組める
 - 繰り返し作業が得意
 - データ入力などが正確
 - 新しい発想が浮かぶ
 - 専門職として活躍

能力の高い発達障害のひとを、人手不足が深刻なI T人材として育て、就職につなげる施設もある。パーソルチャレンスが運営するI T特化型就労移行支援事業所「Neuro Dive（二

人材育成も

榎田康二郎社長（48）は「一人一人が進むことは当たり前なので、誰もが活躍できる職場を作っていきたい」と話す。



「I Tを生かした仕事をしたい」と、ニューロダイブで学ぶ男性（提供写真）

診断 職場に伝えることに抵抗感

厚生労働省の2017年の患者調査を基にした推計では、発達障害を抱える人は約23万人。14年から2割ほど増えるなど、発達障害の認知度が高まったことで増加傾向にあるとされる。

発達障害への理解や支援があると働きやすいが、診断を受けない人や診断結果を伝えない人も多い。野村総合研究所の調査では一般雇用で就職した人の4割が職場の誰にも発達障害を伝えておらず、半数が伝えることに抵抗感があった。

厚生省は、ハローワークに発達障害者専門の相談員を配置し、就職や職場定着を積極的に支える体制を敷く。今年度からは、発達障害の傾向のある学生への支援も始めた。野村総合研究所の高田壽史主任コンサルタントは「発達障害の特性は、専門性のある仕事の強みになることがある。少子高齢化が進む中、上司が潜在能力のある人を生かすマネジメント力を持つことが必要だ」と指摘する。

「得意な業務であれば、才能を生かせる人がいるという可能性を感じた。多様な職種で専門的に採用する企業が増えるといい」と話す。

「Eメールやタブレットなど、自らの障害と向き合い、仕事をやる際の知識の習得や訓練もする。就職時は企業で1か月ほどの就業実習を行い、実務面を判断した上で受け入れ態勢を整えてもらう。」

「Eメールやタブレットなど、自らの障害と向き合い、仕事をやる際の知識の習得や訓練もする。就職時は企業で1か月ほどの就業実習を行い、実務面を判断した上で受け入れ態勢を整えてもらう。」

「Eメールやタブレットなど、自らの障害と向き合い、仕事をやる際の知識の習得や訓練もする。就職時は企業で1か月ほどの就業実習を行い、実務面を判断した上で受け入れ態勢を整えてもらう。」

「Eメールやタブレットなど、自らの障害と向き合い、仕事をやる際の知識の習得や訓練もする。就職時は企業で1か月ほどの就業実習を行い、実務面を判断した上で受け入れ態勢を整えてもらう。」

「Eメールやタブレットなど、自らの障害と向き合い、仕事をやる際の知識の習得や訓練もする。就職時は企業で1か月ほどの就業実習を行い、実務面を判断した上で受け入れ態勢を整えてもらう。」

「Eメールやタブレットなど、自らの障害と向き合い、仕事をやる際の知識の習得や訓練もする。就職時は企業で1か月ほどの就業実習を行い、実務面を判断した上で受け入れ態勢を整えてもらう。」

「Eメールやタブレットなど、自らの障害と向き合い、仕事をやる際の知識の習得や訓練もする。就職時は企業で1か月ほどの就業実習を行い、実務面を判断した上で受け入れ態勢を整えてもらう。」

点滴3人殺害、無期懲役

横浜地裁 元看護師「更生の可能性」 判決



久保木愛弓被告

久保木愛弓被告(34)の裁判員裁判で横浜地裁は9日、「更生の可能性が認められる」として無期懲役の判決を言い渡した。求刑は死刑だった。

横浜市旧大口病院(現横浜はじめ病院・休診中)で2016年、入院患者3人の点滴に消毒液を入れて中毒させたとして、殺人罪などに問われた元看護師

久保木愛弓被告(34)の裁判員裁判で横浜地裁は9日、「更生の可能性が認められる」として無期懲役の判決を言い渡した。求刑は死刑だった。

久保木愛弓被告(34)の裁判員裁判で横浜地裁は9日、「更生の可能性が認められる」として無期懲役の判決を言い渡した。求刑は死刑だった。

が苦手で、看護師の資質に告げ「苦しい評議でしたが、恵まれない被告が殺害を繰り返した経緯は「努力ではない」とも話し、難い事情が色濃く影響していた」と述べた。

また、法廷で自分に不利な内容も含めて素直に供述しており「犯罪の重大性を痛感し、最終陳述では死んで償いたいと述べるに至っている」とも指摘。死刑がやむを得ないとは言えず「生涯をかけて罪の重さと向き合わせるにより、更生の道を歩ませるのが相応だ」として無期懲役が妥当だと結論付けた。

言い渡し後、裁判長は被告が「生涯をかけて罪の重さと向き合わせるにより、更生の道を歩ませるのが相応だ」として無期懲役が妥当だと結論付けた。

判決を受け、横浜地裁の安藤浄人次席検事は「内容を精査し、適切に対応したい」、横浜はじめ病院は「患者に寄り添い、守るべき病院で、看護師がこのように恐ろしい行為に及び、大変申し訳なく思う」とそれぞれコメントを発表した。

顔の向きや表情で スマホ操作可能に

Google、障害者向け

【ニューヨーク共同】米Googleは23日、スマートフォン向け基本ソフト(OS)「アンドロイド」で、カメラを使い顔の向きや表情でスマホを操作できる新機能を発表した。手が不自由で画面の操作ができなかったり、言葉が発せなかつたりする障害者に活用してもらいたいとしている。

新機能の名称は「カメラスイッチ」。

「右を見る」「左を見る」「上を見る」「ほほ笑む」「眉を上げる」「口を開ける」という六つの動きをあらかじめスマホに記憶させ、各動きに割り当てた操作を行うことができるという。

それぞれの動きの大きさも個人で調節可能だとしている。アンドロイドのユーザー補助設定ツールから利用できる。

新機能の名称は「カメラスイッチ」。

点滴中毒死判決

3人殺害 異例の死刑回避

横浜市の旧大口病院で2016年に起きた点滴中毒死事件の判決で、横浜地裁は殺人罪に問われた元看護師久保木愛弓(34)に無期懲役を言い渡した。3人を殺害した被告の完全刑事責任能力を認めた上で死刑を避けるのは極めて異例。死刑の適用基準を示した最高裁判例が重視する被害者の数と、被告の精神状態とのバランスを取りながら、ぎりぎりの判断に至ったとみられる。

(1面に関係記事)

被害者の数

裁判官の間では、殺人一人との考えが根強い。し、15年に刑が執行されなかったら、津田寿美年元死刑囚は求刑通り死刑判決が確定する。09年に川崎市でアパートを刺殺した6月に妻と3人を殺害した。被告の責任能力に問題

犯罪の性質	刑事責任は重大で死刑か無期懲役を科すべきだ
動機	うつ状態でも仕事を続けストレスをため込むなど、動機形成過程には酌むべき事情もある
残虐性	被害者は苦痛の中で生命を奪われた
結果の重大性	3人の生命が失われ、結果は極めて重大
遺族感情	悲痛な心情と厳しい処罰感情を述べたのは当然
社会的影響	言及せず
年齢	言及せず
前科	前科前歴はない
事件後の状況	事実を認め、不利益なことも含めて供述し、謝罪した。更生の可能性も認められる

精神状態と難しいバランス

たとして殺人罪に問われた元警察官も一、二番で死刑判決を受けて上告中だ。

最高裁は1983年の判決で死刑適用基準(永山基準)を示し、これまでに刑事裁判の実務に反映されてきた。永山基準は、犯罪の性質、動機、残虐性、結果の重大性、遺族の被害感情、社会的影響、被告の年齢、前科、犯行後の情状の9項目を総合的に考慮して判断するとしている。結果の重大性は「ことに殺害された被害者の数」と強調された。

「難しい評議」

横浜地裁判決は「何よりの3人の生命が失われた」という結果が重要である」と指摘。さらに「生命軽視の度合いも強い」「動機も身勝手極まりない」と断じた。

一方で、久保木被告の経歴や殺害に至る経緯に言及。問題解決の視野が狭い自閉スペクトラム症の特性を持っていることから「動機形成過程には、被告の努力ではいかんともしい難い事情が色濃く影響している」と判断し「更生の道」を選択した。

家令和典裁判長は被告への説諭で「難しい評議でした」と吐露した。あべテラン裁判官は、完全責任能力を認めた以上は死刑を選択する事件だと指摘。「ぎりぎりのところで死刑を回避した判断だ」と解説し、裁判長の思いを推し量った。

「全く問題のない精神状態であれば死刑だっただろう。しかし動機形成に影響があると考え、判断材料として無視できなかったのではないのか」

加害元少女の収容継続支持

佐世保・高1殺害で福岡高裁

長崎県佐世保市で2014年7月、高校1年の女子生徒(当時15歳)が殺害された事件で、第3種少年院(旧医療少年院)に収容されている同級生で加害者の元少女(23)について、福岡高裁(辻川靖夫裁判長)は24年までの収容継続を認め、長崎家裁決定を支持し、元少女側の抗告を棄却した。4日付。

少年院法では、収容者の精神に著しい障害があり、矯正教育を継続する必要がある場合は、26歳未満まで収容が認められている。法務省によると、23歳を超え

る収容期限の継続決定は平成以降で初めて。

辻川裁判長は、元少女の非行に結びついた精神的な問題点の現状や程度を踏まえ、「精神に著しい障害があり、矯正教育の継続が特に必要と認められたことに誤りはない」と指摘。長崎家裁の決定は「著しく不当とはいえない」と判断した。

長崎家裁は元少女を「重度の自閉症スペクトラム障害(ASD)」と認定し、「(第3種少年院で)可能な限り長期間治療教育を施せば、効果は期待できる」としていた。

として、準強制わいせつ罪に問われた無職友納義晴被告(73)に対し、福岡地裁は27日、懲役2年4月(求刑・懲役2年6月)の判決を言い渡した。被告は障害者を狙った性犯罪を繰り返しており、小西隆博裁判官は「障害につけ込んだ卑劣な犯行」と述べた。

判決によると、被告は5月31日、福岡市内のマンションで女子生徒が抵抗できないことに乗じ、胸や下半身を触った。

被告人質問では、障害者を狙った理由を「抵抗しないから」と供述。知的障害がある少女への性犯罪で2008年に懲役6年、15年には懲役4年の判決を受け、服役中に再犯防止プログラムを受講していたという。

知的障害生徒にわいせつ実刑

福岡地裁懲役2年4月

知的障害がある女子高校生にわいせつな行為をした

障害者閉じ込め 虐待疑い

伊豆大島の入所施設職員ら

伊豆大島(東京都大島町)にある知的障害者の入所施設「大島恵の園」で、複数の職員が入所者を長時間部屋に閉じ込めたり、暴言を浴びせたりしていたことが3日、関係者や運営法人への取材で分かった。「数年前からあった」と話している職員もおり、町は虐待に当たるとみて調査している。

施設は、都内を中心に25カ所で福祉施設を運営する

社会福祉法人「武蔵野会」(東京都)が運営。大島恵の園では、入所者間の暴力や骨折事故などを都に報告していなかったことが2018、19年に明らかになり、都から改善指導を受けていた。

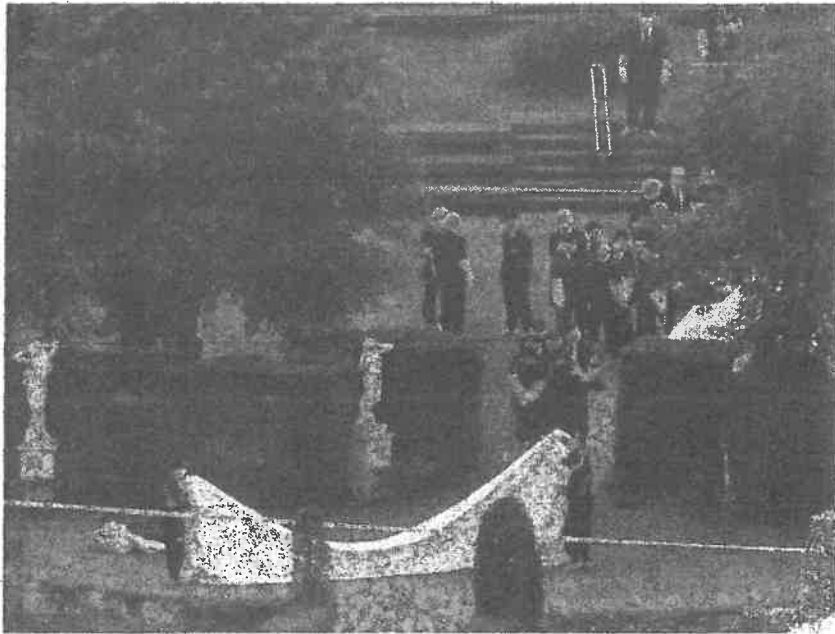
法人などによると、職員6、7人が関わっており、現場のリーダー格に当たる女性主任も含まれる。部屋の扉を外から鍵を掛けた状態で鍵を掛けたりしていた。車いすに長時間ベルトで固定する、侮辱的な言葉を言うなどの行為もあった。入所者約10人が被害を受けていたとみられる。施設が人手不足の状態になっていたため法人の別の施設から応援に行っていた職員が気付き、夏に上司に報告。障害者虐待防止法に基づき、法人が町に通報した。

乳児殺害判決

「支援必要なのに孤立」

24歳母親、懲役5年実刑

羽田空港のトイレで出産した女児を殺害し、公園に埋めたとして殺人などの罪に問われた北井小由里被告の弁護側は、両親との関係や知的能力が事件に影響したと訴えた。9月24日の東京地裁判決はこうした主張を退け、懲役5年の実刑判決を言い渡したが、専門家は「本来支援を受けべきなのに孤立し、問題が起きてしまった可能性がある」と指摘する。



乳児の遺体が見つかった公園を調べる捜査員ら＝2019年11月、東京・東新橋

出産

2019年11月3日、大学生だった被告は就職活動のため、神戸市の実家から上京中、機内で激しい腹痛に襲われ、到着後にトイレで出産した。

被告人質問では、予定日

が12月8日だったが通院せず、早産に関する知識もなかったと明かした。出産時を振り返り「救急車を呼ぼうとしたが、気付いたらトイレにペーパーを（女児の）口に入れていた。理由は「分からない。頭が真っ白になった」と尋ねた。被告は小学生の時から漢字や数学を理解するのが苦手で、母親に「何でこんな問題もできないの」と髪を引っ張られ、厳しく叱られた。会社員の父親は被告に無関心で、高校3年間は一

境界知能

精神鑑定をした医師の証言では、被告の知能指数(IQ)は74だった。85以上が平均で70未満が「知的

障害」に当たり、被告のIQはその「境界」レベルとされる。立命館大の宮口幸治教授(児童精神医学)によると、「境界知能」の人は漢字や数字の理解の他、先のことや考えの苦味な特徴がある。「被告は妊娠や出産をするところなるか、具体的に考えられなかった可能性がある」と分析。さらに「やる気がないと勘違いされやすく、親が厳しくあたってしまい、子どもが孤立するケースも多い」という。被告は周囲と比べてできないことが多く悩んでいたが、公判で「知能が低いと言われて、すっきりした」と話した。

2016年4月	兵庫県内の大学へ入学
19年春	就職活動を開始
9月	産婦人科を受診し、妊娠を確認
11月3日	就職面接のため上京。羽田空港で女児を出産し殺害。東京都港区の公園に遺棄
4日	就職面接を受け、神戸市へ帰る
8日	公園で遺体が見つかる
20年11月1日	死体遺棄容疑で逮捕
12月1日	殺人と死体遺棄罪で起訴
21年9月13日	東京地裁の裁判員裁判初公判で殺害、遺棄を認める
24日	懲役5年の実刑判決

無関心で、高校3年間は一上が平均で70未満が「知的障害」に当たり、被告のIQはその「境界」レベルとされる。立命館大の宮口幸治教授(児童精神医学)によると、「境界知能」の人は漢字や数字の理解の他、先のことや考えの苦味な特徴がある。「被告は妊娠や出産をするところなるか、具体的に考えられなかった可能性がある」と分析。さらに「やる気がないと勘違いされやすく、親が厳しくあたってしまい、子どもが孤立するケースも多い」という。被告は周囲と比べてできないことが多く悩んでいたが、公判で「知能が低いと言われて、すっきりした」と話した。

併せては実刑ではなく、適切な支援を受け、家族と向き合えながら更生できるように訴えたが、判決は知能に障害や大きな問題はないとし「就活への影響を避けるため殺害した。身勝手な短絡的だ」と結論付けた。被告は即日控訴した。

宮口教授は「生きづらいを抱えていても障害と診断されないため、平均的な人と同様に扱われてしまう。最悪の事態になる前に支援を受けられるよう、理解が広がるべきだ」と話した。

障害者ほぼ終日閉じ込め

神奈川県立の入所施設 職員「虐待」と指摘

県	12時から13時間の居室施設
県	13時から19時間の居室施設
県	16時間以上の居室施設
県	9時から12時間の居室施設
県	22時間の居室施設
県	21時から22時間の居室施設
県	21時から22時間の居室施設
県	21時から22時間の居室施設

「中井やまゆり園」の個室の施錠に関する内部資料（左欄は寮の名称）

神奈川県立の知的障害者入所施設「中井やまゆり園」（同県中井町、定員122名）で、一部の入所者を1日20時間以上、外側から施錠した個室に閉じ込める対応が常態化していることが25日、共同通信の入手した園の内部資料で分かった。

園からは「実質的な虐待だ」との声が出ている。施錠の対象は、自閉症で強度行動障害などがある入所者。園の曹野大史園長は取材に対し、現在も3、4人を個室で20時間以上施錠していることを認めた上で、「行動障害がある入所者の安全のため、やむを得ない。短くするよう取り組んでいる」と話した。

同園は2016年に殺傷事件があった津久井やまゆり園と同じく県立施設。津久井園は県から委託された社会福祉法人の運営だが、中井園は県が直営している。県は今年5月に「中井園で1日8時間以上、施錠するなど身体拘束が2月時点で22件あった」と発表。うち2人については障害者虐待防止法に基づく虐待と認めた。

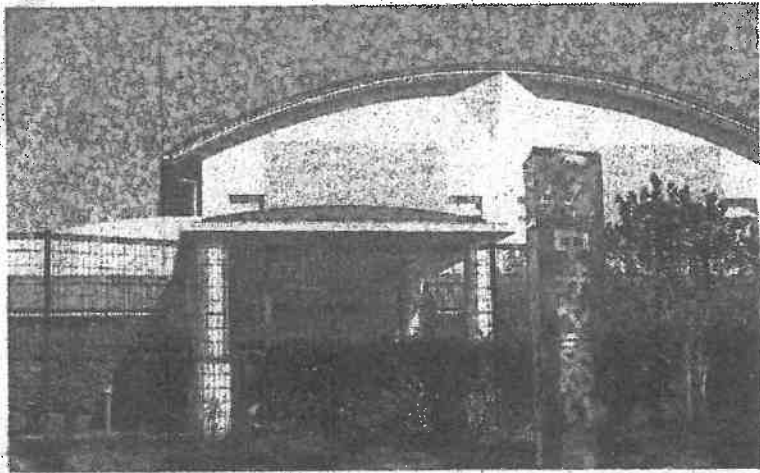
だが、内部資料では同じ2月時点で22人のうち5人が20時間以上施錠されていた。長時間の施錠が10年以上続いていた人も数人いる。園の複数の職員は取材に「県の発表は時間を少なく見せかけている。虐待と認定された2人と他のケースに実質的な違いはない。拘束が認められる切迫性や一時性などの要件を満たしていないのに、県立のため身内意識でチェックが働いていない」と証言している。

長時間の閉じ込めは津久井園でもあったとされ、殺傷事件の判決で横浜地裁は植松聖死刑囚(31)について「利用者を入所して扱っていかないように感じ、重度障害者は不幸で不要な存在と考えるようになった」と指摘。県の有識者会議は今年3月にまとめた県立入所施設全体についての報告書で「津久井園を指導する県自身も権利擁護に対する認識が低かった」としていた。中井園の職員は「障害者を入所して扱わない県の体質が事件の背景にあったの

に、変わっていない」と話した。
必要性に疑問 人権侵害だ
強度行動障害がある人の支援に詳しい鹿児島大の肥後祥治教授の話。自傷行為や暴れるといった強度行動障害は、元々の障害の特性がベースにはなっているが、周囲とのコミュニケーションがうまくいかなかったり、置かれた環境が合っていないかったりするために現れる状態だ。刺激を与える要因を取り除くなど、居室施錠以外の方法を先に考えるべきで、20時間も居室に入れておく必要性はかなり疑わしい。他の施設では聞いたことがない。虐待であり、人権侵害と言っている。

「ともに生きる」言葉だけ 鉄製扉、カメラ映像で観察

知的障害者施設「中井やまゆり園」
11月22日、神奈川県中井町



「『ともに生きる』というスローガンからは全く懸け離れている」。知的障害者を長時間、個室に閉じ込めている実態が明らかにな

った神奈川県立「中井やまゆり園」。取材に応じた複数の職員は、相模原の殺傷事件後に県が掲げた理念を挙げ、「事件の教訓が生かさ

れていない」と話した。園には男女別に計七つの「寮」がある。内部資料によると、長時間の個室施錠が行われているのは、自閉症で強度行動障害があるとされた人向けの2寮が中心。それぞれ6〜十数人が入所する。

職員らによると、2寮のうち男性の寮の部屋は鉄製の扉。鍵が二つあり、一つは外から施錠できるようにしている。職員は各部屋にあるカメラの映像を職員室のモニターで見えており、短時間の散歩や活動、入浴などのときだけ入所者を連れ出すという。

県は殺傷事件後、県立施設での入所者の待遇を検証。中井園で虐待されていたと5月に発表された2人は、この2寮の男女。住民票のある市がたまたま同じで、県から情報提供

を受けた市が虐待と認定したという。職員らは「他市町からの入所者も実態は変わらないが、他市町は県の顔色をうかがって『虐待』と言わなかっただけ」と話す。

5月の発表後、園では8時間以上連続して施錠しないよう、数時間ごとに5〜10分ほど解錠するようになったという。「ただ、声を掛けるわけではないので、入所者は気付かず、その間も部屋にいる。これで『長時間の施錠はなくしました』と言うつもりだろうか」と職員の一部。

県は中井園を含む県立入所施設の在り方について7月から有識者委員会を議論しており、不適切な支援を問題視する意見が委員からも出ている。委員会は10月に中間的な論点整理をする予定だ。

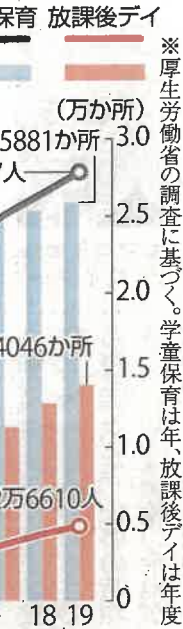
学童内わいせつ19人処分

過去5年 放課後デイ25人

放課後や夏休みなどに子供たちが利用する「放課後児童クラブ(学童保育)」と障害児が通う「放課後等デイサービス」(放課後デイ)で、2020年度までの5年間に、利用者へのわいせつ行為が確認された職員は少なくとも44人、被害者は69人になることが読売新聞の全国調査でわかった。わいせつ事件の犯歴を隠して採用され、再び犯行に及ぶ例もあり、学校現場でのわいせつ教員問題に続き、子供たちを預かる施設でも課題が浮かび上がった。

〈関連記事29面〉

犯歴隠し採用も 本社全国調査



学童保育放課後デイの施設数、利用者数の推移

※厚生労働省の調査に基づく。学童保育は年、放課後デイは年度

読売新聞は7月中旬～8月上旬、全都道府県、県庁所在地、政令市、中核市、東京23区の計156自治体に全国調査を実施。NPO法人や民間企業が運営する「民営」の施設についても、自治体が把握している事案について尋ねた。両施設でのわいせつ被害の実態が明らかになるのは初めて。施設別に見ると、わいせつ事案で逮捕されるなどし

たのは、学童保育では職員19人、被害を受けた子供は30人。放課後デイでは、同様に職員25人、被害を受けた子供は39人になった。一部自治体は「被害者やプライバシー」の保護を理由に処分者などの人数や被害者数を非公表とした。

小学生が対象の学童保育には、保育士や教員免許などの資格を持った放課後児童支援員ら約16万人が、放課後デイには保育士や実務経験者などとした児童指導員ら約7万人(常勤換算)が勤務する。学童保育は19年には、2万5881か所、利用者数129万9307人と、いずれも過去最多を更新。放課後デイも、施設数は12年度の2887か所から、19年度は4倍以上の1万4046か所、利用者数も22万6610人と増加

学校や発達障害や知的障害などがある子供を、自治体の指定を受けた施設が放課後などに受け入れる制度。児童福祉法に基づき、2012年度に始まり、19年度の利用者は約22万7000人。社会福祉法人やNPO法人、企業などが運営する。

そのため、人材の確保が各施設で課題となっている。資格を持たない職員をアルバイトで雇うところも多く、今回の読売新聞の調査でも、わいせつ行為が確認された44人のうち、15人はバイトなどの非正規職員だった。

また、現状では採用時、過去の処分歴で虚偽の申告がされた場合、採用側が事実確認できる仕組みはない。昨年11月に千葉県内の学童保育で、男児にわいせつ行為をして有罪判決を受けた

けた男は、その8か月前にも、岡山県の学童保育で同様の事件を起こしていた。こうした問題を受け、5月末に成立した「教員による児童生徒性暴力防止法」の付則には、子供に接する業務に就く者の性犯罪歴を照会する制度の検討が明記された。

学童経営者わいせつ70回

子供13人へのわいせつ行為。子供に障害があれば拒否できない。学校を終えた後、子供たちが過す「放課後児童クラブ（学童保育）」と「放課後等デイサービス（放課後デイ）」を対象とした今回の全国調査。子供たちが様々な立場の職員たちと接する「放課後」にも、多くの危険性が潜む実態が垣間見えた。

〈本文記事一面〉

本社全国調査

◆全国の放課後児童クラブ、放課後等デイサービスで起きた主なわいせつ行為

放課後児童クラブ	20歳代のアルバイト補助員の男子大学生が女兒5人の体を触ったとして解雇
放課後等デイサービス	20歳代の非常勤職員の男が女子トイレにカメラを設置し、児童2人を盗撮
	20歳代の児童指導員（正規職員）の男らが複数の児童の下着を脱がせ、その様子を動画撮影。児童が学校でのアンケートで被害を訴え、発覚
	知的障害児向け学童施設で、40歳代の正規職員が小学生の女兒に繰り返し性的暴行

行為をしていたことも明らかにになった。男は学童保育の施設内のほか、送迎の車中や宿泊施設などで犯行に及んでいた。

■保育士の犯行

静岡県では今年6月、放課後デイに通う知的障害児らにわいせつ行為をした元保育士の30歳代の男に、強制的性交罪などで懲役12年の判決が言い渡された。

判決では、男は19、20年、自身が勤務する放課後デイを利用して知的障害などのある10歳代の少女3人に対しわいせつな行為をし、その様子を動画で撮影。特別支援学校などに車で迎えに行き、車内などでわいせつ行為を繰り返したと指摘された。

男が検察当局に対し「障

害があれば、無理やりする行為を拒否できない。被害を親や周囲に説明できないから、都合が良い」などと供述していたことも裁判で明らかになった。

事案を監査した同県の担当者は「資格を有した児童指導員や保育士を一定数配置しているが、今回の事件では、その保育士が犯行に及んでしまった」と話した。

「信頼」逆手

「児童の健全な育成を図るべき立場なのに、被害児童らが被害を信頼していたことなどを利用した卑劣な犯行」

関東地方の裁判所で20

「拒否できない」「障害児狙いも

17年8月、民間の学童保育を経営する30歳代の男に強制わいせつ罪などで懲役10年の判決が言い渡され

た。

判決によると、男は13、16年、預かった男児や男子中学生ら計13人に対し、計

70回以上、わいせつな行為を繰り返した。男は、過去に従業員として勤めた学童保育でも、児童にわいせつ

職員 学校よりも密接

両施設は、遊びや運動、体験活動が中心で、楽しく過ごせるのが特徴だ。職員らとも距離感が近くなりがちで、放課後デイでは、障害児の支援のために1対1で触れ合うことも多く、職員との関係は、学校よりも密接になりやすい。

性暴力撲滅の啓発活動を行うNPO法人「しあわせなみだ」の中野宏美理事長は、「子供を支援する立場の職員によるわいせつ行為は決して許されず、障害のある子供であればなおさらだ」と指摘。そのうえで、「両施設では、職員を異動させたり解雇したりして内々に処理するケースもあり、自治体の把握人数は氷山の一角だろう。性被害は自治体や警察に通報すべきだという認識を施設側にも定着させ、実態を掘り起こす必要がある」と話す。